

# 桐生西ロータリークラブ週報



2013-14年度RIテーマ **ロンD.バートンRI会長**

ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES **ロータリーを実践し みんなに豊かな人生を**

例会日時 毎週金曜日 12:30 ~ 13:30  
 例会場・事務所 桐生市堤町3-5-23 桐生プリオパレス  
 TEL 0277-22-9155 ・ FAX 0277-44-2777  
 Eメール kiryu-nishi@rid2840.jp URL http://www.rid2840.jp/kiryu-nishi  
 会長 阿左美博 広報活動委員長 家住慧路 広報活動委員  
 幹事 高森 勉 クラブ会報・雑誌担当 金子福松 根本正則・船戸義澄  
 羽鳥 隆(歴史編集・IT・CICO担当)

No. 1931

2014年2月28日発行

## 第2050回記念例会 (2014・2・21) 報告

- |             |  |
|-------------|--|
| 1. 点 鐘      | 6. 委員会報告                                     |
| 2. ロータリーソング | 7. 記念卓話 パスト会長 星野幸男君<br>『米山梅吉翁と日本のロータリー、etc.』 |
| 3. 会長報告     | 8. 点 鐘                                       |
| 4. 幹事報告     | 9. ロータリーソング                                  |
| 5. 食 事      |  |

### ◆会長報告

阿左美会長

1. 本日は2050回記念例会です。当クラブは昭和46年に認証番号15,000番を頂いて発足致しました。もう少して創立50年を迎えます。記念卓話はチャーターメンバーであります星野幸男パスト会長にお願いしました。伝統ある桐生西クラブの足跡を辿りながら、日本のロータリーの礎を築かれた米山梅吉翁のお話しをして頂きます。  
また、本例会の昼食は、SAAさんが趣向を凝らしてお赤飯を用意して下さいました。
2. 先週末の大雪のため、ロータリーでも大変影響が出ております。先ず、土曜日に予定されていた米山奨学生終了式が中止になりました。連絡が届く前に、早めに家を出られたカウンセラーの奥村会員が、途中、立ち往生で酷い思いをされたそうです。また、下井田地区補助金委員長が出席予定だった、日曜日の竹内ガバナー年度の地区研修セミナーが延期になりました。「ローターアクトと行く絹の旅」も中止になり、前橋・藤岡・富岡などの地区内RCの今週予定されていた例会も、軒並み休会になったそうです。
3. 18日(火)の夜、うおせんにて、桐生5RC会長幹事会を行いました。懸案なっています1年交換学生の受入については、各クラブの意見を星野ガバナー補佐を通じて地区にお伝えして頂く事になりました。また、皆様に全員登録をお願いしましたIMは、出来る限り参加して下さいますよう、お願い致します。
4. 明後日の日曜日、新会員セミナーが、前橋問屋町センター会館で開催されます。当クラブから栗原秀一会員と下城サト子会員の2名が出席されます。

### ◆幹事報告

高森幹事

- ◇次例会は桐生赤城RCとの合同夜間例会です。
- ◇再来週は(株)アタゴ製作所様への職場訪問です。出欠席のご連絡をお早めをお願い致します。
- ◇下期会費の未納の方はお早めをお願い致します。
- ◇自閉症啓発デーのポスターが会場入口付近にあります。掲示ご協力頂ける方はよろしくお願い致します。

### ◇例会変更のお知らせ

- 桐生南RC 3/26 富岡中央RC 3/13,3/27
- 藤岡RC 2/20,3/13 藤岡南RC 2/28,3/14,3/21(休)
- ◇クラブ会報が到着しています
- 桐生RC 2/17 桐生南RC 2/5,2/12 桐生赤城RC 1/28

### ◆食事メニュー

1310キロカロリー

春菊と油揚げのお浸し、サーモンの柚庵焼き、赤飯、香の物、豚角煮のとろろかけ、ニラと豆腐のお味噌汁、赤ワインゼリー

### ◆委員会報告

#### □クラブ運営委員会

##### ◇出席報告

新木出席担当

総数51名(免除者9名の内5名出席の為4名を除く)  
 出席率対象者47名、出席率対象者出席人数33名  
 欠席者14名(内前メイク6名) 出席率82.98%  
 前々例会修正出席率90.00% (最終欠席者5名)

#### □拠金委員会

##### ◇ニコニコBOX

松原ニコニコBOX担当

星野幸男パスト会長、記念卓話ありがとうございます  
 阿左美君、高森君、霜村君、新木君、小林(憲)君、  
 中野君、向田君、福島君、乾君、家住君、近藤君、  
 鳥嶋君、武井君、金子君、七五三木君、小林(聡)君  
 2050回記念例会を祝して 栗原(幸)君、斎藤君、野田君  
 昨日は520部余り「にんげん」を配ることが出来ました  
 船戸君

#### ◇ロータリー財団

石川拠金委員長

星野幸男パスト会長、記念卓話楽しみにしています  
 新木君、小林(憲)君、福島君、七五三木君、小林(聡)君、  
 船戸君、野田君、前原君、栗原(幸)君、鳥嶋君、江原君  
 2週続けての大雪大変だったでしょう 阿左美君

#### ◇米山BOX

栗原(幸)米山BOX担当

星野幸男パスト会長、記念卓話ありがとうございます  
 新木君、小林(憲)君、鳥嶋君、近藤君、  
 七五三木君、小林(聡)君、前原君、栗原(幸)君  
 2050回記念例会を祝して 斎藤君  
 雪の後遺症がすごいです 船戸君  
 雪かき、いい汗かきました 江原君

記念卓話



チャーターメンバー  
1988-89年度会長  
星野幸男君

「米山梅吉翁と日本のロータリー」

ロータリーの創始者 ポール・パーシー・ハリスと日本のロータリーの創始者 米山梅吉氏は、同じ時代に79才の人生を過ごした2人です。その生存年月は、僅かに数ヶ月の差があるのみで、共に孤独な幼年時代を過ごし、アメリカの大学で法律を学び、人生での生様は異なるとはいへども、ロータリーの奉仕の理想に身を挺した2人です。

米山梅吉氏は、1868年（明治元年）2月4日、大和高取藩士 和田竹造の三男として江戸芝田村町にあった、同藩江戸中屋敷にて誕生いたしました。

明治5年、5才の時、父 竹造が逝去(43才)され、以後、母 うたが静岡県三島神社の神官の娘であるので、母の実家に寄寓、幼時を過ごしました。明治12年、12才で静岡県駿東郡長泉村（現在の米山梅吉記念館の所在地）の旧家 米山家の養子となりました。

米山梅吉氏の生涯の足跡を大きく分けてみますと、次の3つになります。

その第1は、少年・青年期の大冒険であります。具体

的には16才で勉学の志止みがたく、家出同然といった状態で沼津を離れて上京して、苦学し、更にアメリカに渡り、28才で帰国するまで働きながらいくつかの大学で政治学、法律学を学びました。

第2の足跡は、アメリカから帰国した30才頃からの、旧三井銀行をベースとした実業家としての大成功でありました。これによって、政府特派委員として外国との交渉に臨むなど、日本を代表する金融財政家となったのであります。

更に3番目が、この成功を背景とした社会還元としての、もろもろの奉仕活動であります。この面では、特に各自の職業を通じて、社会に奉仕する、という理念を掲げて、1920(大正9)年に日本にロータリークラブを創立し、現在の盛行をもたらしたことは有名であり、この点は、我々はよく理解しているところです。

その他、私財を投じて多方面への奨学援助あるいは「三井報恩会」による民間空前規模の社会、文化事業への助成活動など、我が国のボランティア活動の先駆者と呼ばれるに相応しい事業を残したのであります。

現在の青山学院初等部および幼稚園を、私財をもって創設したのも、米山梅吉氏であります。

これらの3つの足跡それぞれに対応して、米山梅吉に大きな影響を与えたと思われる三人の存在があります。その人達とは、一人は米山の実父である和田竹造、二人目は三井銀行での良き友人でありライバルだった池田成彬、そして三人目がアメリカで最初にロータリークラブを創立したポール・ハリスであります。この三人が「米山梅吉をめぐる三人の侍」とも呼ばれています。

この様に、終始輝かしい光彩に充ちた生涯を送った米山梅吉氏にも、悲痛とも言える体験がありました。

ポール・ハリスと米山梅吉の略歴

ポール・パーシー・ハリス



- 1868年 4月19日、米国ウィスコンシン州ラシーンで、ジョージ・ハリスの2男として生る。
- 1871年 3才の時、父が事業に失敗。ヴァーモント州ウォーリングフォードの父方の祖父の許に引き取られる。
- 学 業 ブラックリバー・アカデミーに学び、バーモント大学、プリンストン大学およびアイオワ州立大学で法律を修め、1891年卒業。
- 放浪の5年間 直ちに弁護士を開業せず、人生修業のため米国内各地と欧州各国を遍歴。その間ポールの従事した職業は、新聞記者(4回)、旅館の番頭、果樹園手伝、大理石会社(2回)、乾葡萄の積出、貨物船水夫(2回)、実業学校講師、乾草採集、舞台俳優、オレンジもぎ、カウボーイ(この間訪欧2回)
- 1896年 シカゴで弁護士開業。
- 1905年 2月23日、ロータリークラブ創設。
- 1910年 7月2日、ジーン・トムソン(スコットランド出身)と結婚。
- 1910年 全米ロータリークラブ連合会発足。初代会長に就任。
- 1912年 国際ロータリークラブ連合会発足。名誉会長に推挙さる。
- 1935年 日本を訪問。
- 1947年 1月27日死去。

米 山 梅 吉



- 1868年 2月4日、江戸芝田村町で、大和高取藩士 和田竹造の3男として生る。
- 1872年 父の死に遭い、母が静岡県三島神社の神官の娘であるので、母の里方に寄寓する。
- 1887年 米山家へ養嗣子として入籍。渡米。
- 1893年 シカゴ万国博覧会で日本品の説明者を勤める。
- 学 業 在米8年間。加州ベルモント・アカデミー、オハイオ州ウエスレアン大学、ニューヨーク州シラキュース大学に修学。法律専攻。
- 1895年 帰朝。
- 1896年 10月6日、米山はると結婚。日本鉄道へ入社。(渉外事務担当)
- 1897年 合名会社三井銀行へ入社。
- 1898年 銀行業務調査のため欧米に出張。
- 1909年 三井銀行常務取締役就任。
- 1917年 財政調査団員として渡米。ダラスにて三井物産の福島喜三次(ダラスRC会員)にロータリーのことを知る。
- 1920年 日本へロータリーを導入。東京RCを結成。初代会長に就任。
- 1924年 RISペシャル・コミッショナー。
- 1926年 RI理事。
- 1928年 「ロータリーの創始者 ポール・ハリス」を出版。
- 1929年 ダラス(米)のロータリー国際大会出席。
- 1936年 「ロータリーの理想と友愛」を翻訳出版。
- 1946年 4月28日、静岡県の郷里にて死去。

世に逆縁ほど悲しいことはないと言いますが、ご長男 東一郎さんを大正11年20才で、ご次男 駿次さんを大正15年21才で、それぞれ亡くされたことは推し測るさへ心痛むことであります。子供さんを偲ぶ思い出に「四十雀」と題する歌集を出版しております。他にたくさんさんの詩歌を残しております。

1946(昭21)年4月28日は米山梅吉氏の命日であります。米山梅吉氏の名前を知らない日本のロータリアンが居るとすれば、それは一寸可笑しい事で、まあニセのロータリアンかなと言われるかもしれません。何よりも日本のロータリーの生みの親であり、育ての親と言われております。

当初は、米山梅吉氏の命日に因んで、4月に「米山週間」を設けていましたが、1983(昭58)年から10月を米山月間としました。主な理由は、米山奨学会の理事会評議員会(8月末)の直後で、事業報告など最新の資料を提供できる時期にあたるからということです。そして、この「米山月間」というものは日本独自のものです、世界のどこのロータリーにもない月間であって、手続要覧は勿論、R I が発行するどの文献にも記載されていません。日本の各地区がいつ頃から始められたかは、米山記念奨学会でも判らないとのことであり、初めのうちは5つか6つの地区しか実施していなかったようです。

私は、三島市郊外の米山梅吉記念館に行ったことはありませんが、昔はかなり片田舎であって、誰もが日本ロータリーの育ての親が出た所とは信じられなかったようです。やはり立派な人間というのは、どんな田舎や山奥にいても努力次第で出るものだ、と感心する訳であります。

米山梅吉氏が日本にロータリーを導入した起点というのは、当時、三井物産ダラス支店長だった福島喜三次氏がダラスRCのメンバーだったので、ここでロータリーの何であるかを聞き、研究をし、日本に導入したということは、皆様ご承知の通りです。この時、米山梅吉氏は50才だったといえますから、当時の社会状態では当然停年の年齢です。当時の帝国大学教授の停年は50才だそうです。その50才の時、ロータリーの何

であるかに着目したり、ロータリーのただものならぬことを悟ったり、将来性を見抜いたりという所は、やはり米山梅吉氏の偉大さがあったからだと思えます。その上、ロータリーを日本に導入して定着させたので、すから、没後80年経っても未だに日本のロータリーの頭上に燦然と輝いていても可笑しくない訳です。第一次世界大戦後から今日に至るまで、世界文明の主流は米国を中心として動いて来たと言われますが、たとえ米山梅吉氏がロータリー思想を導入していなくても、いずれは誰かが入れたか、米国側から押し入って来たことでしょう。

それだけでなく、若く戦後ならば6.3制教育と同様に怒濤の如く日本に入ったことと思えます。ライオンズクラブの戦後の導入の例は適例であります。日本のロータリアン全員が米山梅吉氏の着眼の素晴らしさ、物凄さに敬服しているものと思えます。そして私心なく、日本ロータリーの設立に、育成に、心血をそそいだ事は、立派の一語に尽きるのではないのでしょうか。

### 「ロータリーの出席」

どのロータリーの入門書にも書いてあるのは「ロータリーとは出席することと見つけたり」という名句です。ロータリーから出席を除きますと、何も残らないということになるし、出席のない所に奉仕の花は咲かないのは当然の事です。出席さえしていれば、何時の日か何かを会得することができるようです。私も入会時は何もわからないので、唯々出席をしていました。

ロータリークラブでは必ず一週に一度、一定の日時に一定の場所で定例の会合を開くことを定め、その日時と場所は、国際ロータリーが毎年発行する公式名簿に記載されて居ります。世界中のどこのクラブだろうと、全てのロータリアンは出席することが可能です。従って、クラブの例会というのは、そのクラブだけの会合ではなく、国際ロータリーの一員としての「公式会合」と言われる所以です。「ロータリーは出席がうるさくてなあ……」という、出席こそ国際ロータリーが一定の拘束として課している一番大切なものなのです。



### 福島喜三次氏について

1881(明治14)年10月10日、佐賀県有田市に、父方は代々紺屋(染め物屋)、母方は酒造業の子供として生まれました。

のちに東京商科大学(現一橋大学)となる東京高等商業学校を首席で卒業し、1904年、三井物産に入社、ニューヨーク支店勤務を経て、1912年、ダラスで三井物産の子会社を設立、綿花を大々的に商うこととなります。

そして1915年にダラスロータリークラブ入会。彼こそ日本人ロータリアンの第一号となります。やがて米山梅吉が経済使節団を率いて訪米し、その際、福島家に宿泊、喜三次の紹介でダラスロータリークラブを訪問します。「テキサスの野にひんがしの初日の出」は、その折り梅吉が詠んだ句です。

そして、喜三次は東京への異動に伴い帰国することになり、その際にR I から、日本にロータリーを創設して欲しいとの要請があり、米山梅吉を会長に、日本で初めてのクラブ創設に尽力しました。翌1921(大正10)年4月1日、世界で855番目のクラブとして東京ロータリークラブのR I 加盟が承認されました。喜三次は幹事として会長を補佐しました。

それから、大阪転勤により、1922(大正11)年11月17日、大阪ロータリークラブ創設にも尽力し、ここでも幹事として裏方に徹しました。

喜三次が大阪在住中の1923年9月に関東大震災が起こり、世界の各クラブからの救援物資を東京へ輸送するなど、大活躍しました。支援は復興へ大変役立ち、全国民から感謝されました。このことが、ロータリークラブが全国的に相次いで生まれる契機ともなりました。

大変誠実な人として知られ、座右の銘は「利他即自利」。妻アサは、外交官で外務省通商局長や駐ブラジル公使等を歴任した杉村濤の娘。国際連盟事務次長等を歴任した杉村陽太郎とは義理の兄弟。1946年9月17日死去。

\*「喜三次」の読みには「きそじ」「きさじ」の2説があります。所属の東京RC会員名簿などの公式書類には常にローマ字で「Kisoji」とあるのですが、ご遺族によれば「きさじ」が正しいとのこと。また子どものころ福島氏は地元では「きそっちゃん」と呼ばれていたと言われ、今となってはどちらが正しいのか、確定できません。

他所のクラブに突然予告もしないでいきなり飛び込んで行って、何時でも良く来たと歓迎してもらえる、このような素晴らしい組織がロータリーなのであります。

例会に出席するという事は、クラブの為に出席率を良くするという点数稼ぎの為ではないと思います。昼食をするだけで殆ど話もしないで帰るというのも、おかしな話です。話しを一切しなくとも、出席率が良いというのも、おかしな話です。ロータリーのロータリーたる所以は、一週一度の定例会であり、会員資格を維持する為に必要な最低の条件が、会費納入と例会出席であります。ロータリーで大切にと言われる親睦も、出席がなければ生まれません。例会出席により、皆が顔を合わせていれば、いつの間にか友情が生まれて親睦が深まるということです。

ある著書に依れば、「新入会員の最初のクラブ活動は例会への出席である」とも書いてあります。この一言は、一番大切な事を述べていると同時に、最も理解し易く、実行し易いことを簡単に述べています。しかし、これは新入会員に限ったことではなく、我々何年かクラブに在籍した者でも実行し難い場合が多いし、まれには例会を忘れることさえあります。我々ロータリアンは奉仕と言う前に、出席という原理を忘れては悲しいこととなります。

しかし、これ等の言葉は或る会員にとっては、「今更何を言いますか、当然ではないか」と叱られるし、別の会員にとっては、「これが苦しいんだ」と本音を吐く。この両者の言葉の差が、出席率に出てくるものだと思います。即ち、会員各自の出席に対する心構えなのだと思います。

確かにロータリーの出席は厳しい。世界には色々のクラブがあるが、ロータリーの出席ほど厳しくて、出席率の高さは他のクラブは問題になりません。最近のガバナー月信を見ても、85%が各クラブの平均出席率であり、これを割ると非常に残念な感じがします。当クラブは常に地区の平均%を超えています。素晴らしいことです。

創業者ポール・ハリスは、出席の事に就いては大変考え尽くしたに違いありません。結局はロータリーは出席を基礎に置いて、その上に奉仕を置くという形式が最上であるという信念を持ったに違いありません。そして「ロータリークラブは、平均出席率が高くなくては、その重要な目的を達成することが出来ない。最良のクラブとは、最高の出席率を保持するクラブである」とも言っているのです。

出席のない所に奉仕の花は咲かないし、奉仕のないロータリーはもはや「老足り」になってしまうのではないのでしょうか。

### RI第2840地区ホームページをご覧下さい

当2840地区ホームページのトップページが、ロータリー創立記念日に合わせて、期間限定(2014年2月23日～3月7日)で、特別ページになっています。

是非、この機会に下記アドレスにアクセスして下さい。

<http://www.rid2840.jp/2840web/home.html>

## (有)鳥島モーターズ

取締役会長 鳥嶋 隆一

みどり市笠懸町阿左美2577-5

TEL 0277-76-5000

## 「君」か、「さん」か、「先生」か

「君」(クン)を名前の後に付けて読む呼び方は、ロータリークラブでは、昔からその様な習慣だったということは、段々と忘れられているようです。その昔とは何時であろうか。なんと驚いた事には、大正時代に日本にロータリーが入って来た時から、直ちに「君」付でやって来たのであります。

大正時代に「君」付でお互いに呼んでいた所を推察するに、これは恐らくは大学以下に学校での男子学生のお互いの呼び方であり、特に小学校での呼称に師弟間でも可愛く使われていたと思われまふ。

第2は国会でありまして、大臣であろうと、一年生議員であろうと、国会の代議士は皆平等であって、お互い「君」付で呼んでおります。しかし、この頃では、国会外では「先生」と呼ばない機嫌が悪くなる方々がいるというから、始末が悪い世の中です。

第3は、私学の慶應義塾大学です。大正時代の三田の学舎の掲示板には「〇〇君休講」と、張り紙がしてあったそうで、旧帝大出身の駆け出しの講師が啞然としたそうです。当時の帝大だったら恐らく「〇〇博士教授都合により休講とす」と書かれていたに違いありません。「〇〇君休講」とは、如何にも人の上に人を作らず人の下に人を作らない福沢諭吉の慶應大学であります。

第4は、他ならぬ日本のロータリークラブであります。恐らくは米山梅吉氏が発案したか、また将来を見通して発想したかで、「君」付にして呼んでいるとは、誠に珍しいと当時の新聞に書かれていたそうです。

我がクラブの会報を見ても、〇〇君誕生祝となっており、これこそ伝統であり、習慣となっております。ときどき他クラブでは〇〇会員となりますが、これは近頃どこからともなく出て来た呼称で、栄えある呼称ではないのであります。

ロータリーの「君」は、非常に伝統のあるものであります。一般的には日本のロータリーにおいては、なかなか難しい問題です。大先輩をつかまえて或いは大先輩を前にして、〇〇君などと呼べるはずがありません。ロータリーの水平思考や平等意識を持たせるために呼称を統一することは、私達日本人には無理なのではないかと思えます。学生同士であれば何もかも平等ですから、お互い「君」でいいと思えます。

しかし、ロータリーのように年齢差、ロータリー歴の差があると、そうはいきません。ロータリアンとしては平等かもしれませんが、年上先輩などに対しては、礼節を重んじるべきではないでしょうか。

ただ社会的地位等から、無理に先生等と呼ぶことは避けるべきだと思います。以前は、先生と呼ばれるのは教職と医者に限られていたようですが、最近は先生の種類が多くなりました。ある飲み屋のママの話ですが、「お客さんは、先生か社長と呼ばば間違いない」と。また「先生と呼ばれるほど馬鹿でない」と、怒った人もいるそうです。

やはり、無理な呼称によって、かえって親睦を阻害するよりも、お互いに呼びなれた呼び方がよいのではないのでしょうか。私は医者や教職のように、今まで先生と呼ばれている人は先生と呼び、その他のひとは全部「さん」で呼んでおります。しかし、最近ほどのクラブでも、自分の子供のような年齢の元気なロータリアンが増えております。場合によっては「君」と呼ぶかもしれません。あしからず。

### 《次例会予告》

3月7日(金) 職場訪問『楸アタゴ製作所』

集合時間 12:15、集合場所 同社駐車場